



蝦夷人唱歌 并
安祿別、シラネイ、ホロベツ
紀事

洋学文庫
文庫 8
A 183





西巻地ハガマ造ノ夫ハ軍同ノ為故

銀ノ高價ノ用ナリト時ハ上ニ一ノ重ノ人合故

金ノ高價ノ用ナリト時ハ上ニ一ノ重ノ人合故

銀ノ高價ノ用ナリト時ハ上ニ一ノ重ノ人合故

金ノ高價ノ用ナリト時ハ上ニ一ノ重ノ人合故

銀ノ高價ノ用ナリト時ハ上ニ一ノ重ノ人合故

金ノ高價ノ用ナリト時ハ上ニ一ノ重ノ人合故

銀ノ高價ノ用ナリト時ハ上ニ一ノ重ノ人合故



西夷地ソウヤ邊し夷人宴間の唱歌

大槻文庫

蝦夷國始く用けし時に十二重の美肢を
着したる神と只一重の糸袴を着したる
神と物々神のおま降るる時より美肢
と着したる神をさるく思ふくは國より
神より富を給ふと祈り尊敬しりるに
糸袴を着したる神は伝へ近き人の依て

其神天上にて終る再ハ降る終る人又美
胎枕著しきる神ハは國にゆく所のり
ハ神ハ粟稗の神をそ尾腹せ着しきる
神ハ米穀の神なりしが天上よりゆく
蝦夷地を酷寒の地なりを十二重の神
此國よ為る多くと新リか糠穀の多き粟
稗の神ともしるん単衣の神ハ米の神と

もきん夷狄おれを淡きしり依る
蝦夷地ハ此國極みく米穀の出るぬそと
わくしりぬり

又一傳説

蝦夷地渾沌未分の時二神み色の雲ル
奈てあま降る共雲よりシリヅノボリ
と造る多くと云は神と

カルモシリカモイと云
造島神

シリブツを夷地第一に高山なり

一安祿別

此所ヨリノコヘリベツマテ五里余
番屋八九間臺所アリ藏アリ

支配人 圓藏

近所ニ夷人小屋少ニアリ番屋ノ後ニ川アリ甚フカシ此所ニ
一夜寓リ翌明六ツ時出立ソノ日晴天坊所モ平山雜木
林ノ内小葦原ナトバカリヲ通りテノコヘリヘツヨリ半里
程手前ニ小川アリ鱒魚ノ川上ヘノボル丁多シソノ時荷
ヲ負シ夷人死川ヘヒタリ鱒ヲ手取ニシ或ハヤスヲモ
チ来リテツキトル一殿ニ狗ナトモ川ヘ入クハ来ルヲモ
所ニテ在~~此~~所ニテ昼飯ナドヲツクヘテ見物ス又カギヘ
引カケテトルモノモアリ昼所ヲハナウシト云

一シラライ

會所南向普請大抵藏アリ傍ニ鎮守宮アリ白ハ
蒼海近所ニ夷人小屋アリ馬モカスアリホロベツ近
七里七丁

同九日朝五ツ時出立ツノ日朝小雨降會所ノ後ノ方ヨリ二三丁行テ
川アリ馬船ニノリコヘテ萱原へ出テ一里程ノ平山雜木茂リ
葛蔓多シ少シ歩テ川アリコレハ板橋ナリ十二間程柱ナシ
カケワタシタル橋ナリコレヲ越テ山中ニ入雜木茂リ葛蔓
多シ石ツタカツソノ外木ニモ少ク紅葉シテ見ユ其内ニ萩原
ナトアリコレモ下葉ハ皆キバミカチニ夫ヨリ柏木山アリ
クノキナトモ見ユ其中ニ桑木數アリ大サ一尺四五寸ナリ
ツタカマリテ數アリ其外樹木數アリモソノ名ヲ知ス會所
アイロウラ昼後大川三ツソノ内一ツ舟渡ソレヨリホロベツ
マテノ間一里半程ニシテ十四五曲リタル大坂アリコレハクナ
シリヨリホロベツマテノ第一ノ坂ナリコレヲ下リテ一里程
海岸萱原ヲ通リテホロ別會所ニ着スコノ大坂ノ前
道ノ傍ニ大木ノ栗アリコレノ時女ニ笑ミテアリ馬ヲ
負シ小見ニ是ノ木ハ何ナリト問ハカノ小見マニト答フ
シヤムコトハニ栗木ト聞ト答ラレ駐入り通ル

此所ヨリ左ノ方海中ニエサレサキミユル此日ハツ時ヨリ晴天
セツ上刻ニホロベツニ着ス

一ホロベツ

會所辰己去閑アリ普シニ大抵
藏アリ鎮守祠アリ

同十日朝五ツ時出立尤晴天會所ノ傍ノ方ヨリ出敷
十歩ニシテ大川アリ船渡夫ヨリ海岸四五丁隔リテ
野原道ニ里程歩ミ柏木山ヲ通り半里程歩ミテナリ
ベツ昼休ミ夫ヨリ大山ナリ屈曲ナル難所上下スルノ數
度ニシテイヨク大阪アリ五山四谷ナリ是ハ雜木
林ノ栗ナトアリ朽木アリ此時トナコトクク笑ミテ
落ツコノ山上ヨリ左ノ方ニ入海見へ其中島々多シ此
間ニ里半ニシテ海岸へ下リ則モロランノ會所ナリ此
時九ツ半ナリ會所ノ前ヨリ大黒島ナト見ユ景地
ナリ是日四ツ時ヨリ曇天

石母田平馬





